第 10 講 【系統地理編】交通・通信・観光・貿易
PART 3 観光

Chapter 1　世界の観光動向

目標
ヨーロッパでインバウンドが大きい国の特徴を知ろう。
近年の新たな観光形態について知ろう。

1　世界の観光動向

・生活水準の向上や，〔　　　　　〕**交通**・〔　　　　　〕の発達により，20 世紀半ば以降国際的な**観光動向**が加速した。

・20 世紀半ばは**欧米**などの先進国が中心だったが，21 世紀に入り**新興国**でも活発化。
　→距離的に近い国や，経済的結びつきの強い国，**先進国**間での行き来が多い。

・**観光業**は，ほかに関連する産業が多く，発達することでの**経済効果**が大きい。

2　インバウンドとアウトバウンド

・〔　　　　　　　　　　〕：外国から観光客を**受け入れる**こと。

・〔　　　　　　　　　　　　〕：自国民が外国へと**出かける**こと。

・一般に〔　　　　　　〕では，**インバウンド**と**アウトバウンド**がともに発達しているが，〔　　　　　　　　　〕では**インバウンド**が先行して発達し，経済発展とともに，**アウトバウンド**も発達していく。

・ヨーロッパでは夏に**バカンス**の習慣があり，国をまたぐ移動が活発。
　→冷涼な**北部**の**イギリス**や〔　　　　　　〕は，**アウトバウンド**が大きい。
　→**地中海沿岸**にある〔　　　　　　　　〕や**スペイン**，**イタリア**は，**インバウンド**が大きい。

・**ギリシャ**や**タイ**，**トルコ**は，遺跡などの観光資源に恵まれ，**インバウンド**が大きい。

・**アメリカ合衆国**では広大な国土を航空機で移動することもあり，観光客 1 人当たりの消費額が大きいため，**観光収入額**が世界最大である。

＜観光客数と観光収入（インバウンド）（2019 年）＞

国名	客数（千人）	収入（百万ドル）
フランス	89,322※	71,011
スペイン	83,509	79,611
アメリカ合衆国	79,256	**233,461**
中国	65,725	35,832
イタリア	64,513	51,910
トルコ	51,192	42,350
日本	31,882	49,206

（統計は全て，『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成。※の統計年次は，2018 年。）

＜海外旅行者数と観光支出（アウトバウンド）（2019 年）＞

国名	海外旅行者数（千人）	観光支出（百万ドル）
中国	154,632	254,621
ドイツ	108,542※	99,865
（ホンコン）	94,715	26,498※
イギリス	93,086	71,516
アメリカ合衆国	92,564※	182,366
ロシア	45,330	40,611
日本	20,080	29,145

3 さまざまな観光形態

・従来，観光は美しい景観や名所・旧跡めぐり，買い物，食事，スポーツ観戦などが主な目的であった。近年は，**自然**に触れ合い**環境**について学ぶ，新しい観光の形態も見られる。

・〔　　　　　　　　　　　　　　〕：自然豊かな農村に宿泊し，農業体験などを通じて，自然に親しむ観光形態。

・〔　　　　　　　　　　　　　　〕：自然環境や歴史・文化などについての体験を通じ，学ぶことを目的とする観光形態。

まとめ　リゾート地を有しバカンス客を迎える国や，遺跡などの観光名所が多い国。農村への滞在型観光であるグリーンツーリズムや，地域の自然環境や歴史・文化を学ぶエコツーリズムなど。

Chapter 2　日本の観光

目標
日本でインバウンドが伸長した背景を理解しよう。
現在，日本の観光地で起こっている問題を知ろう。

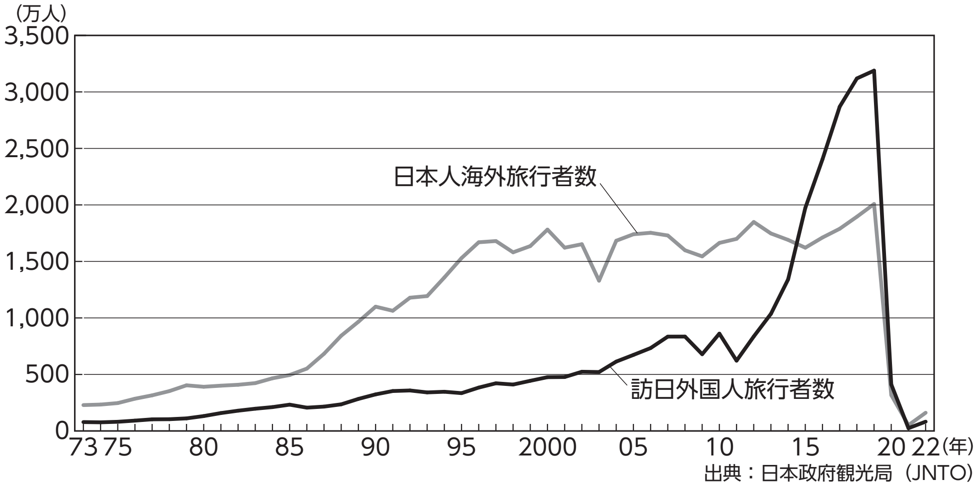
1　日本の観光の特徴

・日本では，古くより**観光地**をめぐる**周遊型**の観光が主流。バカンスの文化があるヨーロッパなどと比較し，日本の観光は**短期間**であることに特徴がある。
→寺社仏閣や景勝地への訪問，〔　　　　　〕などを目的とした観光。
・高度経済成長期やバブル経済の時期を経て，観光の形態が多様化。1990年代頃には，**滞在型**の観光も増加。
→冬は**スキー**，夏は**海岸リゾート**，ほかに**テーマパーク**など。
・従来の〔　　　　　〕**型観光**だけでなく，近年は観光客を受け入れる地域が，その地の魅力を活かしたプランや体験プログラムを企画・運営する〔　　　　　〕**型観光**も増えている。

2　日本の国際的な観光動向

1. 日本のアウトバウンド
・1964年：**海外旅行の自由化**が開始。
・1980年代：経済成長による個人所得の増加や**円高**を背景に，海外へ出かける人が増加し，海外旅行が一般化。
→その後，長い間〔　　　　　　　　　　　〕が**インバウンド**を上回っていた。

2. 日本のインバウンド
・21世紀に入り，外国人観光客による収入増を目的に〔　　　　　　　　〕が指向される。
→〔　　　　　　〕の設立や，観光を目的とする短期滞在の**ビザ発給条件の緩和**など。
・2010年代以降：**中国・韓国**や〔　　　　　　　　　　〕の経済レベルが上昇し，観光客が急増したことで，2015年には**インバウンド**が**アウトバウンド**を上回った。
→看板やパンフレットの**多言語表記**，宗教上のタブーに配慮した食事の用意や〔　　　　　　〕の設置など，多様な**文化的背景**を持つ観光客に対応するための工夫が行われる。
・外国人観光客には，日本の**自然景観**や〔　　　　　　　　〕，**和食**などが人気。



日本人海外旅行者数と訪日外国人旅行者数の推移

多言語表記の看板

東京駅に設けられた祈祷室

3 近年の観光の問題

・**自然遺産**や**ジオパーク**などにおける，**自然**や**生態系**の破壊，〔　　　　〕の増加。

・急増する観光客に対応できず，トイレなどの**設備不足**や**混雑・渋滞**，**騒音**などの発生。

・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響で収入を減らした観光地も多い。

まとめ　観光立国が指向され，ビザ発給条件の緩和などが行われたことに加え，アジア地域の観光需要が拡大した。
自然や生態系の破壊，ごみの増加，設備不足など。

第 10 講　PART 3　確認問題

1 観光について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 20 世紀半ばの観光動向は先進国が中心だったが，21 世紀に入り新興国でも活発化している。
② 20 世紀半ばより国際的な観光動向が加速した要因の一つは生活水準の向上である。
③ 外国から観光客を受け入れることをアウトバウンドという。
④ 先進国では，インバウンドとアウトバウンドがともに発達する。

2 2019 年において，以下のうち外国から自国を訪れる観光客数が最も多い国はどこか。

① アメリカ合衆国　② 中国
③ 日本　④ スペイン

3 2019 年において，以下のうち自国から外国へと出かける海外旅行者数が最も多い国はどこか。

① アメリカ合衆国　② 中国
③ 日本　④ フランス

4 自然豊かな農村に宿泊し，農業体験などを通じて自然に親しむ観光の形態を何というか。

① エコツーリズム　② グリーンツーリズム
③ ヘルスツーリズム　④ ロケツーリズム

5 日本の観光について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 古くより観光の主流の一つは寺社仏閣・景勝地への訪問である。
② 1990年代頃には，テーマパークなどへの滞在型の観光も増え始めた。
③ 日本の観光は長期型の旅行が中心である。
④ 近年は，観光地側が体験プログラムを企画・運営する着地型観光も増えている。

6 日本において，海外旅行の自由化が行われたのは何年代か。

① 1940年代　② 1950年代
③ 1960年代　④ 1970年代

7 日本のインバウンドがアウトバウンドを上回ったのは何年代か。

① 1980年代　② 1990年代
③ 2000年代　④ 2010年代

8 日本のインバウンドについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 21世紀に入ると，観光庁の設立やビザ発給条件の緩和などが行われた。
② 2010年代以降，中国・韓国や東南アジアからの観光客が急増した。
③ 多様な文化的背景を持つ観光客に対応するため，食事面などにおける工夫が行われている。
④ 看板やパンフレットの多言語表記は，いまだに進んでいない。

第 10 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：③

外国から観光客を受け入れることを**インバウンド**といい，自国民が外国へと出かけることを**アウトバウンド**という。

2 解答：④

スペインは歴史的建造物を有することに加え，リゾート地にはバカンスを楽しむ多くの観光客が訪れる。

3 解答：②

近年の経済発展で**中国**では個人所得が増加し，外国へ旅行へ出かける人口が激増した。

4 解答：②

自然豊かな農村に滞在し，農業体験などを目的とする観光形態を，**グリーンツーリズム**という。

5 解答：③

日本の観光は，夏季休暇や年末年始の休暇を利用した**短期型**の旅行が中心である。

6 解答：③

日本では，**1964 年**に海外旅行の自由化が開始された。

7 解答：④

日本では，**2010 年代以降**，中国，韓国，マレーシアなど東南アジアからの観光客が急増したことで，インバウンドがアウトバウンドを上回るようになった。

8 解答：④

訪日外国人が増えたことにより，看板やパンフレットの**多言語表記**が進んでいる。